

開催記念セミナーご案内

場所： テレビピアホール ホワイエ 特設会場
各定員80名事前予約制・参加無料

基調講演

1日目：12月11日（火） 13:30～14:30

4K 8K IP VR Drone? InterBEE2018 最新報告

(株)ニューメディア 出版局長 吉井 勇氏



テレビ放送の10年先は明るいのだろうか？ 多くの関係者はそれほど期待できないと答えます。テレビ放送の本質は何か。それは技術が生み出す文化だと考えています。InterBEEでは、放送技術の根幹が変わりつつあることを実感しました。

現在、放送の「IP」規格が進んでいます。IPが進めば、放送局はもっとコンパクトにシステム化され、制作や編成部門以外の考査や営業も一つのシステムに統合された運用が考えられておくでしょう。既に海外では大きな変革が訪れています。中部地方でも、すでに

IP化に取り組んでいる局がいくつかあり、ローカル局における新しい放送局が期待されます。

パネルディスカッション

2日目：12月12日（水） 11:00～12:00

中部のコンテンツ産業 次の10年をどう生きるか？

ニューメディア吉井勇様にモデレータをお願いし、石川テレビ放送 制作部 木下敦子様からは全国に先駆けて行われて来た4K番組制作の苦労話や海外番販の取り組みなどを紹介いただきます。

CTV MID ENJIN 営業推進室 牧野 充裕様からはバイリンガル VTUBER事業の取り組み、アイドル支援事業を紹介いただきます。名古屋は地元アイドルの宝庫！

名古屋市 観光文化交流局 ナゴヤ魅力向上室 田頭 泰樹様は、日本の都市魅力ランキングで2年連続、名古屋が最下位となり話題をさらった仕掛け人ですが、その一方で今や、名古屋が映画やドラマのロケで大人気となった担当者でもあります。官民あげての映像による地域活性化！我々は間違いなく、日本の真ん中から世界に映像を情報を発信し続けて行きます。

クリエイター座談会

2日目：12月12日（水） 13:00～14:30

中部の学生映像クリエイター次世代の原石を探せ！

参加校

愛知淑徳大学 創造表現学部
名古屋市立大学 芸術工学部
名古屋造形大学 造形学部

モデレータ

CBCテレビ 勝野 博之氏

映像制作を研究テーマとする3大学のゼミの学生が集まりそれぞれが制作したコンテンツを鑑賞しながら、作品の発想モチーフ、制作へのこだわりなどに迫ります。会場からの意見も交えて、今後映像で目指したいこと、そして今のテレビ、映画、インターネットに物足りないものなど議論。今後のメディアを牽引していく若者たちの熱い思いを語ってまいります。